

令和2年度 東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者評価委員会 特記事項 今後取り組むべき点

(美術館・博物館)

対象館	内容
東京都江戸東京博物館 (たてもの園を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で多大な影響を被る中、様々な努力が行われたが、文化施設がこの状況下にあるべき姿は未だ暗中模索の状況にあると思われる。今年度の適切な分析と課題の設定、今後の対応を求めたい。 ・令和4年度からの大規模改修による休館を控えており、今後の方針としてコスト構造の見直しが望まれる。 ・収蔵庫のスペース不足は今後対策を図ることが求められる。
東京都写真美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で多大な影響を被る中、様々な努力が行われたが、文化施設がこの状況下にあるべき姿は未だ暗中模索の状況にあると思われる。今年度の適切な分析と課題の設定、今後の対応を求めたい。 ・収蔵庫のスペース不足は今後対策を図ることが求められる。
東京都現代美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で多大な影響を被る中、様々な努力が行われたが、文化施設がこの状況下にあるべき姿は未だ暗中模索の状況にあると思われる。今年度の適切な分析と課題の設定、今後の対応を求めたい。 ・収蔵庫のスペース不足は今後対策を図ることが求められる。
東京都美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の集荷・返却においては、個人情報の管理を含め安全に遂行できるよう取り組む必要がある。 ・コロナ禍で多大な影響を被る中、様々な努力が行われたが、文化施設がこの状況下にあるべき姿は未だ暗中模索の状況にあると思われる。今年度の適切な分析と課題の設定、今後の対応を求めたい。 ・コロナ禍の影響で、従来のような大規模展覧会の集客スタイルが見込めない可能性が高いため、コスト構造を含めた事業の見直しが望まれる。